

# 小学部だより

筑波大学附属

桐が丘特別支援学校

小学部通信第6号

2016. 8. 30. 発行

この夏のリオデジャネイロオリンピックでは熱戦が繰り広げられました。体操男子個人総合のベルニャエフ選手や、陸上男子50キロ競歩のダンフィー選手の言動には、まさにクーベルタンの考える「オリンピズム」が表れていたように思います。間もなくリオデジャネイロパラリンピックが始まります。選手たちの姿から、子どもたちはどんなことを感じるでしょうか。



パラリンピックという名称は、1964年東京大会で初めて愛称として使用されました。当時は、車いす選手による大会であったため、英語で下半身のまひを意味する「パラプレジア」と「オリンピック」を組み合わせた用語として「パラリンピック」と名付けられました。その後、「もう一つの（パラレル）オリンピック」という解しゃくに変更されました。

【オリンピック・パラリンピック学習読本 小学校編（東京都教育委員会）】より

## 自立活動実践セミナー2016

7月29日（金）、7月30日（土）の2日間、当校で自立活動実践セミナー2016が開かれました。そこでご覧いただいた小学部の様子を、一部ご紹介します。



動作法を活用した自立活動の授業づくり



「個別の指導計画」に基づく授業づくりのあり方